



第1回
定例会

厳しい社会情勢のなか

行財政課題について議論白熱

～妊婦健診の公費負担の拡充、新消防本部庁舎の整備など盛り込んだ21年度予算案可決～



進む定額給付金支給事業

第1回定例会では、平成21年度岸和田市一般会計予算をはじめとする新年度関連の議案や、教育委員の人事案件など51件が市長から提案され、ごみの有料指定袋の導入などを盛り込んだ議案第27号を除く50件を原案のとおり可決し、議案第27号については継続審査となりました。

議員からは、市議会委員会条例の一部改正案と意見書の2件を提案し可決しました。

定例会の概要

2月24日～3月23日

2月24日に開会した今定例会では、まず監査結果や専決処分等の報告の後、20年度補正予算など10件の議案が市長から提案され、各常任委員会に審査を付託しました。

その後、議員が市政について一般質問(3面に掲載)を行い、理事者の見解をたてました。

25日～27日に開かれた各常任委員会では、付託された議案の審査や所管事項について調査を行いました。

3月3日に開かれた福祉総合センター及び周辺地域活性化調査特別委員会では、理事者から事業の現状などの報告を受け、質疑を行いました。

4日には各常任委員長から審査結果の報告を受け、満場一致で可決しました。

続いて、21年度の市政運営の大綱となる新年度予算や関連する36件の議案を議題とし、市長から施政方針が表明されました。

9・10日には、施政方針について各会派の代表者による総括質問(2面と3面に掲載)を行った後、予算特別委員会を設置し、新年度予算及び関連議案の審査を付託しました。

度予算及び関連議案の審査を付託しました。

11日～18日に開かれた予算特別委員会では、歳入の確保に努めているか、効率的で透明性のある予算編成がなされているかなどに主眼を置き、詳細な審査を行いました。

23日には予算特別委員長から、ごみの有料指定袋の導入などを盛り込んだ議案第27号を除く議案について、審査結果の報告(下段に要旨掲載)を受けた後、討論を行いました。

賛成討論の要旨

「自治体の目的は市民生活の福祉の向上であり、これに逆行する行財政再生プランに沿った施策が打ち出されている本予算には反対である」

賛成討論の要旨

「限られた財源のなかで選択と集中により、安全・安心のまちづくり、子育て支援、産業振興などを推進し進める本予算に賛成である」

議案を傍聴しませんか

第2回定例会予定

▽6月16日(火)：本会議
▽6月17日(水)：本会議
▽6月19日(金)：文教民生常任委員会
▽6月22日(月)：事業常任委員会
▽6月23日(火)：総務常任委員会
▽6月24日(水)：福祉センター特別委員会
▽6月25日(木)：本会議

※いずれも午前10時開会の予定です。
※傍聴される方は、当日、市役所新館3階議会受付へお越し下さい。

氏名 ※敬称略	
委員	梶野 郁子
	中村 富和
	南 正美
	岡本 冠一
補充員	松浪 延彦
	永野 和良
	上村 まゆ美
	利田 泰之

選挙管理委員・補充員当選者名簿

※地方自治法により議会において選挙するとしている。

▽浪切ホール等の管理運営については、さらなる人件費の削減を
▽市民との協力、協働が必要な施策や議案については、自治基本条例に基づいた議論を経て上程を

その後、起立表決を行った結果、賛成多数で可決しました。

その後、選挙管理委員及び補充員の選挙を行い(左端当選者名簿)、教育委員、固定資産評価審査委員の人事案件について、それぞれ同意しました。

議員からは、市議会委員会条例の一部改正案と意見書(左横掲載)の2件を提案し、満場一致で可決しました。

最後に、福祉センター特別・議会運営の各委員会の特定事件、予算特別委員会の議案第27号については、議会閉会中も継続して調査・審査することに決定し、開会しました。

意見書を可決

議員提案により可決した意見書を国会や内閣総理大臣などに提出しました。

肝炎対策のための法整備を求める意見書(要旨)

求める意見書(要旨)

平成20年度から開始された国の「新しい肝炎総合対策」は、法律の裏付けのない予算措置であるため、実施主体の都道府県によって施策の格差が生じている。

適切なウイルス肝炎対策を全国的に推進するため、国や地方公共団体の責務を定めた基本法の制定を国に強く求める。

▽幼児児童医療費助成制度の対象年齢のさらなる拡大を
▽製造業者の負担を軽減し、融資制度の拡充を
▽市税の減少、扶助費の増大に対応するため、より一層の行財政改革の推進を

予算特別委員会 36議案を審査

予算特別委員長報告(要旨)

【予算特別委員】

◎中塚 茂春
◎京西 且哲
◎松本 芳子
◎信貴 啓子
◎池田 隆次
◎鳥居 宏治
◎森田 悦厚
◎稲田 千代子
◎岸田 厚
◎今田 千代子
◎西野 精昌

◎委員長
◎副委員長

予算審査過程での意見・要望

▽行財政再生プランを中止し、市民の立場に立った行財政計画の策定を
▽行財政再生プラン実現に向けた日程管理の早急な着手、計画変更時の速やかな情報開示を
▽チビッコホームの保育時間の延長を
▽地域経営システムによる積極的な行財政の構造改革を
▽教育委員会が中心となり学力向上の取り組みを
▽危機管理の専門知識を身につけた自衛隊OBの配置を
▽防災については予算編成

にも重点を置き、万全の対策を

▽能力のある職員を生かせる柔軟な人事制度と行政サービス向上のため職員研修の充実を

▽市政に貢献できる競争事業の継続と抜本的な改革を

▽安心して出産できるよう市民病院の産科医の早急な配置を

▽市民病院は公立病院の使命を果たすため健全な経営を

▽乳幼児医療費助成制度の対象年齢のさらなる拡大を

▽製造業者の負担を軽減し、融資制度の拡充を

▽市税の減少、扶助費の増大に対応するため、より一層の行財政改革の推進を

▽浪切ホール等の管理運営については、さらなる人件費の削減を

▽市民との協力、協働が必要な施策や議案については、自治基本条例に基づいた議論を経て上程を